

(仮称) 浜松市新清掃工場・新水泳場
整備運営事業

審査講評

平成17年2月8日

浜松市新清掃工場水泳場建設事業における

P F I 専門委員会

P F I 専門委員会委員長コメント

(仮称)浜松市新清掃工場・新水泳場整備運営事業(以下「本事業」という。)は、浜松市が初めて取り組むP F I事業(「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(以下「P F I法」という。))に基づく事業)であり、一般廃棄物等の処理について環境安全性に充分配慮した清掃工場と清掃工場の余熱を利用し国際大会が開催可能な水泳場を一体的に整備・運営する事業として、全国的にも注目を受け、多くの企業からの関心が寄せられました。

本事業では、民間事業者の応募に係る負担の軽減を図る趣旨から第一次審査と第二次審査による二段階審査方式を採用しました。第一次審査においては7グループの提案を受けましたが、各応募グループともに提案作成に対しての真摯な取組みの姿勢が伺えるものでした。第二次審査においては第一次審査を通過した3グループの提案を受けましたが、いずれも独自の創意工夫やノウハウが随所に発揮され、非常に質の高い提案が得られました。各応募グループの提案作成に対しての多大な尽力に対しまして深く感謝申し上げます。

浜松市新清掃工場水泳場建設事業におけるP F I専門委員会(以下「P F I専門委員会」という。)においては、P F I法に則り、事前に公表した事業者選定基準書に基づき、各応募グループの提案内容について厳正かつ公正な審査を行った結果、後述の優秀提案と次点提案をP F I専門委員会の総意のもとに選定しました。

選定された優秀提案は、清掃工場については環境及び安全面等に配慮され、また、水泳場については市民サービスの向上に対する民間の創意工夫が図られている等、多くの優れた特長を持つものです。

今後、浜松市と選定事業者において事業契約を締結し、本事業は実施段階に移行することになりますが、長期にわたり事業を円滑かつ適切に実施していくために選定事業者及び浜松市において以下の事項に留意して事業を実施されることを望みます。

選定事業者においては、

- ・ 清掃工場・水泳場共に公共施設としての公共性の確保に配慮の上、市民や社会のニーズを常に把握し、的確に業務にフィードバックすることでサービス水準の維持・向上に努めること。
- ・ 長期の事業に係るリスク管理を徹底し、リスクの顕在化の回避・抑制等に努めること。
- ・ 審査において、相対的に評価の低かった事項については、できる限りその内容の向上に努めること。

浜松市においては、

- ・ 審査において、相対的に評価の低かった事項については、できる限りその内容の向上を求めること。
- ・ 選定事業者の業務について、要求水準書、事業者提案書、事業契約書等に基づき適切に行われているか、モニタリング(監視)を的確に実施すること。

最後に、浜松市と選定事業者が本事業において良好な官民のパートナーシップを構築し、清掃工場及び水泳場における良質で効率的な公共サービスの提供が実現することを切に期待致します。

平成 17 年 2 月 8 日

浜松市新清掃工場水泳場建設事業における P F I 専門委員会
委員長 松島 肇

第 1 . 事業概要

1 . 事業名称

(仮称) 浜松市新清掃工場・新水泳場整備運営事業

2 . 事業の場所

浜松市篠原町地内

3 . 事業期間

整備期間 : 平成 17 年 6 月 ~ 平成 21 年 3 月 (3 年 10 ヶ月)

運営期間 : 平成 21 年 4 月 ~ 平成 36 年 3 月 (15 年間)

4 . 事業方式

P F I 法に基づき , 選定事業者 (選定された応募者の構成員と選定された応募者の構成員が本事業の運営及び維持管理業務を実施するために株主として出資し設立する特別目的会社 (「 S P C (Special Purpose Company) 」) で構成される。) が , 本市の所有となる本施設について整備 , 運営及び維持管理を一括して受託する方式です。

第 2 . 審査方法等

1 . 審査方法

本事業では , 民間事業者の応募に係る負担の軽減を図る趣旨から第一次審査と第二次審査による二段階審査としました。第二次審査については , 価格と価格以外の審査項目について予め定めた審査基準に基づき総合的な審査を行う総合審査方式としました。

2 . P F I 専門委員会

事業提案の審査は , 透明性及び公平性を確保することを目的として設置した , 学識経験者及び本市の職員で構成される P F I 専門委員会において行いました。P F I 専門委員会の委員は以下のとおりです。

委員長 松島 肇 (浜松医科大学医学部教授・医療廃棄物処理センター長)
副委員長 藤原 靖久 (浜名湾游泳協会理事長)

委員 杉原 正洋 (静岡県水泳連盟施設委員長) 日本水泳連盟推薦

委員 藤澤 敏治 (名古屋大学エコトピア科学研究機構教授)

委員 齋藤 慎五 (浜松市企画部長)

委員 徳増 幸雄 (浜松市文化・スポーツ振興部長)

委員 笹田 嘉則 (浜松市環境部長)

3. 募集・選定のスケジュール

日程	項目
平成16年 1月23日(金)	実施方針の公表
平成16年 3月16日(火)	特定事業の選定
平成16年 6月18日(金)	第一次募集の開始
平成16年 7月22日(木)	第一次募集要項等に関する質問回答の公表 提案プログラムの確認書回答送付
平成16年 7月29日(木)	参加表明書,資格審査申請書類及び第一次提案書の受付(7グループ)
平成16年 8月30日(月)	第一次審査結果の公表・通知 第二次募集の開始
平成16年10月 7日(木)	第二次募集要項等に関する質問回答の送付
平成16年12月 1日(水)	第二次提案書の受付(3グループ)
平成17年 1月17日(月)	優先交渉権者及び次点交渉権者の決定及び公表
平成17年 4月上旬	仮契約締結(予定)

4. PFI専門委員会のスケジュール

日程	項目	議題
平成15年10月15日(水)	第1回専門委員会開催	事業計画
平成16年 1月 7日(水)	第2回専門委員会開催	実施方針について
平成16年 3月 1日(水)	第3回専門委員会開催	特定事業の選定・公表について
平成16年 4月 8日(火)	第4回専門委員会開催	要求水準書(案)について
平成16年 6月 9日(水)	第5回専門委員会開催	第一次募集要項,要求水準書,事業者選定基準書について
平成16年 7月29日(水)	第一次提案書受付 PFI専門委員会委員に送付し内容審査を開始	
平成16年 8月16日(水)	第6回専門委員会開催	第一次提案審査,第二次募集要項について
平成16年12月 1日(水)	第二次提案書受付	
平成16年12月 2日(木)	PFI専門委員会委員に第二次提案書を送付し内容審査を開始	
平成16年12月21日(水)	第7回専門委員会開催	第二次提案審査について,ヒアリング事項の検討
平成17年 1月12日(水)	第8回専門委員会開催	事業者ヒアリング
平成17年 1月13日(木)	第9回専門委員会開催	第二次提案審査
平成17年 2月 1日(火)	第10回専門委員会開催	審査講評について

第一次審査

5. 資格審査

平成16年7月29日(木)に、次の7グループから参加表明書、資格審査申請書類及び第一次提案書の提出がありました。

提出された資格審査申請書により、会社概要、決算報告書、実績等を審査の結果、7グループいずれも第一次募集要項に記載の参加資格要件を満たしていることを確認しました。

表 第一次提案募集応募グループ

提案受付番号	グループ名	代表企業名	構成員	
1	チームC.G.A.	J F E エンジニアリング(株)	(株)環境デザイン研究所 (株)熊谷組 J F E 工建(株) J F E 環境サービス(株) J F E プラント&サービス(株)	(株)スポーツプラザ報徳 (株)日本水泳振興会 三井物産(株) (株)ユアーズ静岡
2	三井造船	三井造船(株)	(株)楠山設計 (株)サンクレア セントラルスポーツ(株)	(株)フジタ 三井住友建設(株)
3	日立造船	日立造船(株)	(株)久米設計 シンコースポーツ(株) 新光ビルシステム(株) 新日本製鐵(株)	(株)浜松スポーツセンター 前田建設工業(株) 吉田化成(株)
4	バブコック日立	バブコック日立(株)	(株)アクトス 安藤建設(株) (株)桂設計	東亜建設工業(株) 東海ビル管理(株)
5	大林・荏原	(株)大林組	(株)荏原製作所 荏原エンジニアリングサービス(株) (株)関西アクアティック	(株)共同 (株)昭和設計 中部ビル保善(株) (株)ハリマビシステム
6	タクマ	(株)タクマ	(株)アクタス (株)浅沼組 (株)石本建築事務所 (株)公共設計 (株)合人社計画研究所 (株)杉浦組	(株)ゼクタ セノー(株) (株)タクマテクノス 常盤工業(株) (株)水野組 山平建設(株)
7	はままつアクアクリーン	ヤマハ発動機(株)	(株)梓設計 鹿島建設(株) 鹿島建物総合管理(株) 勝村建設(株) 川崎重工業(株) 川重環境エンジニアリング(株) 清水建設(株) (株)鈴木組 須山建設(株)	中部電力(株) 戸田建設(株) (株)中村組 中村建設(株) (株)松田平田設計 三菱重工業(株) 三菱重工環境エンジニアリング(株) (株)林工組

提案受付番号2の(株)サンクレア、(株)フジタ、及び提案受付番号7の清水建設(株)は、第二次提案受付前に構成員から脱退。

6. 第一次提案審査

資格審査において本事業への参加資格が認められた7グループより提出された第一次提案書の内容について、事業者選定基準書に示された第一次提案審査基準に基づき、PFI専門委員会において審査を行いました。

その結果、三井造船グループ、大林・荏原グループ、はままつアクアクリングループの3グループを第一次審査通過者として選定しました。

表 第一次提案審査結果

第一次提案審査項目			配点	提案受付番号 1	提案受付番号 2	提案受付番号 3	提案受付番号 4	提案受付番号 5	提案受付番号 6	提案受付番号 7	
1 基本方針	1-1 本事業の事業特性 及び課題の把握	事業全体の事業特性及び課題	20	12.86	20.00	12.14	13.57	17.86	13.57	18.57	
		清掃工場に係る事業特性及び課題	20	12.86	18.57	12.86	12.14	18.57	12.14	17.86	
		水泳場に係る事業特性及び課題	20	12.86	19.29	11.43	10.71	18.57	13.57	18.57	
		小計		38.58	57.86	36.43	36.42	55.00	39.28	55.00	
	1-2 実施にあたっての 基本方針	事業全体の基本方針	20	16.43	18.57	20.00	11.43	17.86	17.14	18.57	
		清掃工場の基本方針	20	13.57	16.43	17.86	16.43	19.29	16.43	19.29	
		水泳場の基本方針	20	18.57	18.57	17.86	15.71	17.14	16.43	19.29	
		小計		48.57	53.57	55.72	43.57	54.29	50.00	57.15	
	中計				87.15	111.43	92.15	79.99	109.29	89.28	112.15
	2 設計・建設の 基本的な考え方	2-1 清掃工場の設計・ 建設の基本的な考 え方	環境保全に係る基本的な考え方	50	23.21	48.21	26.79	16.07	25.00	32.14	28.57
安定稼動に係る基本的な考え方			50	26.79	26.79	26.79	28.57	17.86	37.50	37.50	
資源循環・エネルギー利用に係る 基本的な考え方			50	26.79	50.00	26.79	37.50	37.50	35.71	37.50	
実用性・維持管理性に係る基本的 な考え方			50	26.79	50.00	37.50	26.79	26.79	25.00	37.50	
経済性に係る基本的な考え方			40	11.43	21.43	20.00	27.14	20.00	20.00	30.00	
小計				115.01	196.43	137.87	136.07	127.15	150.35	171.07	
2-2 水泳場の設計・建設の 基本的な考え方		地域周辺環境との調和に係る基本的 な考え方	30	25.71	27.86	2.14	26.79	22.50	27.86	30.00	
		機能性に係る基本的な考え方	30	21.43	30.00	24.64	22.50	23.57	18.21	22.50	
		安全性に係る基本的な考え方	30	20.36	22.50	22.50	20.36	23.57	21.43	23.57	
		ユニバーサルデザインに係る基本的 な考え方	20	7.86	15.71	14.29	14.29	15.00	14.29	14.29	
	経済性に係る基本的な考え方	20	10.00	20.00	20.00	14.29	13.57	13.57	18.57		
レジャープールゾーンの整備に係る 基本的な考え方	30	22.50	30.00	22.50	22.50	27.86	21.43	22.50			
小計				107.86	146.07	106.07	120.73	126.07	116.79	131.43	
中計				222.87	342.50	243.94	256.80	253.22	267.14	302.50	
3 運営・維持管理の 基本的な考え方	3-1 清掃工場の運営・ 維持管理の基本的 な考え方	施設保全・機能維持に係る基本的 な考え方	30	15.00	21.43	15.00	8.57	10.71	3.21	16.07	
		作業環境に係る基本的な考え方	30	15.00	22.50	21.43	3.21	22.50	8.57	22.50	
		環境保全に係る基本的な考え方	30	9.64	17.14	20.36	13.93	15.00	1.07	9.64	
		安定稼動に係る基本的な考え方	30	15.00	21.43	13.93	15.00	15.00	2.14	9.64	
		資源化・処分量削減に係る基本的 な考え方	30	7.50	27.86	13.93	7.50	15.00	15.00	9.64	
		経済性に係る基本的な考え方	30	7.50	15.00	15.00	8.57	9.64	8.57	15.00	
	小計				69.64	125.36	99.65	56.78	87.85	38.56	82.49
	3-2 水泳場の運営・維持 管理の基本的な考 え方	競技施設としての運営に係る基本的 な考え方	30	22.50	30.00	28.93	22.50	21.43	26.79	28.93	
		市民利用施設としての運営に係る 基本的な考え方	20	17.14	20.00	14.29	8.57	14.29	15.00	18.57	
		安全性に係る基本的な考え方	20	14.29	15.71	15.71	10.71	14.29	14.29	14.29	
経済性に係る基本的な考え方		20	11.43	15.71	14.29	13.57	14.29	14.29	18.57		
提案プログラムについての考え方		30	20.36	28.93	22.50	21.43	24.64	21.43	21.43		
小計				85.72	110.35	95.72	76.78	88.94	91.80	101.79	
中計				155.36	235.71	195.37	133.56	176.79	130.36	184.28	
4 事業計画の基本的 な考え方	応募者の構成と役割分担の考え方		30	7.50	30.00	22.50	4.29	27.86	12.86	20.36	
	事業実施の確実性	清掃工場	30	10.71	22.50	22.50	13.93	21.43	24.64	20.36	
		水泳場	30	9.64	22.50	21.43	18.21	25.71	11.79	20.36	
	SPCの経営についての考え方		30	12.86	30.00	25.71	11.79	25.71	21.43	26.79	
	事業継続の危機管理についての考え方		30	21.43	30.00	28.93	13.93	25.71	12.86	27.86	
	本市との協調、連携についての考え方		30	22.50	28.93	15.00	15.00	28.93	12.86	21.43	
中計				84.64	163.93	136.07	77.15	155.35	96.44	137.16	
合計			1,000	550.02	853.57	667.53	547.50	694.65	583.22	736.09	
順位				6	1	4	7	3	5	2	

各項目の各グループの評価点は、専門委員7名の平均点

第3．第二次審査

1．価格審査

第一次審査を通過し第二次提案書を提出した3グループの提案書に記載された提案金額(現在価値換算前の実額)について、予め本市が設定した上限価格45,930,740千円(現在価値換算前の実額)以下であるかどうかを審査し、全てのグループの提案価格が上限価格以下であることを確認しました。

表 各グループの提案金額

		提案金額 (現在価値換算前の実額)
提案受付番号2	三井造船グループ	38,870,723,000円
提案受付番号5	大林・荏原グループ	39,657,134,000円
提案受付番号7	はままつアクアクリングループ	44,531,450,000円

2．第二次提案基礎審査

第二次提案書を提出した3グループの提案書の提案内容について、「募集要項」及び「要求水準書」に示す要件に対する違反の有無を審査し、全てのグループの提案内容に違反の無いことを確認しました。また、第一次提案書の提案内容と整合するものであるかどうかを確認し、提案を評価する上で不整合のないことを確認しました。

3．事業者ヒアリング

平成17年1月12日(水)に、第二次提案書を提出した3グループを対象に、提案内容についてのプレゼンテーション(40分)及びヒアリング(40分)を実施しました。

4．総合審査

3グループより提出された第二次提案書の内容について、事業者選定基準書に示された総合審査基準に基づき、PFI専門委員会において審査を行いました。価格以外の審査項目については、提案内容の適切性、有効性、具体性、独自性等の視点から、次表に示す「評価点の付与の考え方」に基づいて5段階評価で点数を付すものとししました。

表 評価点の付与の考え方

	判断基準	評価点の算出方法
A	当該評価項目において特に秀でて優れている。	配点×100%
B	当該評価項目において秀でて優れている。	配点×75%
C	当該評価項目において優れている。	配点×50%
D	当該評価項目にわずかに優れている点を認める。	配点×25%
E	当該評価項目において要求水準を満たしているものの、特に優れている点が認められない。	配点×0%

価格の評価は、提案書に記載された現在価値換算後の提案価格で行うものとし、以下の算式により算出しました。評価点は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを求めました。

$$\text{価格の評価点 } Q_i = \text{配点 } 500 \text{ 点} \times (C_{\min} / C_i) \times (P_{\max} / \text{配点 } 1000 \text{ 点})$$

Q_i : 応募者 i の価格の評価点

C_{\min} : 全応募者の現在価値化後の提案金額のうち最も低い金額

C_i : 応募者 i の現在価値化後の提案金額

P_{\max} : 全応募者の価格以外の評価点のうち最大の評価点

以上による総合審査の結果、優秀提案を三井造船グループ、次点提案を大林・荏原グループと選定しました。

5. 第二次審査（総合審査）審査結果

表 第二次審査（総合審査）審査結果

第二次提案審査項目【事業者選定基準書】			配点	提案受付番号 2		提案受付番号 5		提案受付番号 7	
項目A	項目B	項目C							
1 清掃工場の設計・建設	・建設工事に係る事項	・安全確保に関する提案内容 ・環境保全、建設公害対策に関する提案内容 ・工程計画に関する提案内容 ・工法等の技術提案に関する提案内容 ・施工品質の確保に関する提案内容 ・地場産材の使用に関する提案内容	30	A	30.00	B	22.50	B	22.50
	・清掃工場の施設全体に関する事項	・処理システムに関する提案内容 ・配置計画、動線計画に関する提案内容 ・安全管理に関する提案内容 ・地震対策に関する提案内容 ・塩害対策に関する提案内容 ・見学者対応諸室・説明用調度品に関する提案内容 ・災害廃棄物に関する提案内容	80	A	80.00	B	60.00	C	40.00
	・建築の機能及び性能等に関する事項	・室内環境対策に関する提案内容 ・構造、防水に関する提案内容 ・外構計画に関する提案内容 ・周辺環境保全に関する提案内容	60	B	45.00	B	45.00	B	45.00
	・プラントの機能及び性能等に関する事項	・機器の余裕（ごみ処理施設の安定稼働）に関する提案内容 ・二次災害防止対策に関する提案内容 ・自動制御に関する提案内容 ・スラグ等生成物の資源化に関する提案内容 ・余熱利用に関する提案内容	70	A	70.00	A	70.00	B	52.50
	小計			240		225.00		197.50	
2 清掃工場の運営・維持管理計画	・一般廃棄物等受入れ業務に関する事項	・廃棄物の確認に関する提案内容 ・処理不適合物の取扱いに関する提案内容	30	B	22.50	B	22.50	C	15.00
	・運転管理業務に関する事項	・運転計画に関する提案内容 ・管理運営体制に関する提案内容 ・備品、什器、物品、用役の管理に関する提案内容 ・搬入廃棄物等の性状分析に関する提案内容 ・緊急時の対応に関する提案内容	50	B	37.50	C	25.00	C	25.00
	・保守管理業務に関する事項	・プラントに係る日常点検、定期点検に関する提案内容 ・建築本体、建築電気設備、建築機械設備に係る日常点検、定期点検に関する提案内容	25	A	25.00	C	12.50	D	6.25
	・情報管理業務に関する事項	・情報管理方法に関する提案内容 ・報告に関する提案内容	20	B	15.00	B	15.00	C	10.00
	・環境管理業務に関する事項	・公害防止基準を遵守すべき方策に関する提案内容 ・測定、試験精度に関する提案内容	40	D	10.00	C	20.00	D	10.00
	・修繕更新業務に関する事項	・プラントに係る補修計画に関する提案内容 ・建築本体、建築電気設備、建築機械設備に係る補修計画に関する提案内容	20	B	15.00	D	5.00	C	10.00
	・余熱利用業務に関する事項	・施設内への安定供給に関する提案内容 ・施設外への効率的な供給に関する提案内容 ・熱利用効率に関する提案内容	35	D	8.75	C	17.50	C	17.50
	・スラグ等の有効利用業務に関する事項	・生成物の資源化ルートに関する提案内容 ・スラグの引取り量、価格に関する提案内容 ・スラグの成分分析に関する提案内容 ・スラグ化率に関する提案内容	60	B	45.00	C	30.00	C	30.00
	・その他関連業務に関する事項	・報告に関する提案内容 ・見学者対応に関する提案内容 ・警備に関する提案内容 ・境内清掃に関する提案内容	20	B	15.00	B	15.00	C	10.00
	小計			300		193.75		162.50	
清掃工場 合計			540		418.75		360.00		293.75
3 水泳場の設計・建設	・建設工事に係る事項	・安全確保に関する提案内容 ・環境保全、建設公害対策に関する提案内容 ・工程計画に関する提案内容 ・工法等の技術提案に関する提案内容 ・施工品質の確保に関する提案内容 ・地場産材の使用に関する提案内容	20	B	15.00	B	15.00	B	15.00
	・水泳場の施設全体に関する事項	・バリアフリー及びユニバーサルデザインへの対応に関する提案内容 ・水泳場における環境への配慮に関する提案内容	15	B	11.25	B	11.25	B	11.25
	・建築の機能及び性能等に関する事項	・水泳場の配置計画に関する提案内容 ・敷地レベルの動線計画に関する提案内容 ・外観デザイン、景観への配慮に関する提案内容 ・緑化の推進に関する提案 ・構造計画に関する提案内容 ・建築本体に係る技術的提案内容 ・ゾーニング計画、平面計画、断面計画、仕上げ計画に関する提案内容 ・メインプールゾーン及びサブプールゾーンの計画に関する提案内容 ・レジャープールゾーン、トレーニングゾーンの計画に関する提案内容 ・プール共通ゾーン、大会運営ゾーン、管理ゾーン、共用ゾーン、外部施設の計画に関する提案内容 ・建築機械設備、建築電気設備の計画に関する提案内容 ・備品等の計画に関する提案内容	165	C	82.50	C	82.50	B	123.75
	小計			200		108.75		108.75	
4 水泳場の維持管理計画	・運営に関する事項	・利用者の受付業務に関する提案内容 ・安全監視業務に関する提案内容 ・環境管理業務に関する提案内容 ・大会の開催支援業務に関する提案内容 ・提案プログラム提供業務に関する提案内容 ・飲食、物販店舗の運営業務に関する提案内容 ・駐車場運営業務、その他運営業務に関する提案内容	115	C	57.50	B	86.25	B	86.25
	・維持管理に関する事項	・建築物保守管理業務、建築設備保守管理業務及び備品等保守管理業務に関する提案内容 ・清掃業務、植栽維持管理、警備業務に関する提案内容 ・修繕更新業務に関する提案内容	45	B	33.75	B	33.75	B	33.75
小計			160		91.25		120.00		120.00
水泳場 合計			360		200.00		228.75		270.00
5 事業計画	・応募者の構成と役割分担に関する提案内容	同 左	20	B	15.00	A	20.00	B	15.00
	・事業実施の確実性の確保に関する提案内容	同 左	30	A	30.00	B	22.50	B	22.50
	・S P Cの経営方針、経営内容に関する提案内容	同 左	20	B	15.00	B	15.00	B	15.00
	・事業継続の危機管理に関する提案内容	同 左	20	A	20.00	A	20.00	A	20.00
	・本市との協調、連携に関する提案内容	同 左	10	A	10.00	A	10.00	A	10.00
事業計画 合計			100		90.00		87.50		82.50
価格以外評価 合計					708.75		676.25		646.25
価格評価 得点					354.40		344.40		298.50
総 計					1,063.15		1,020.65		944.75

6 . 総合審査(価格以外の評価項目)の講評

総合審査(価格以外の評価項目)は,第一次審査を通過した3グループを対象に,各々のグループから提出された第二次提案書に記載された内容について,事業者選定基準書に基づき審査を行いました。いずれのグループの提案も本事業の詳細かつ高水準の要求水準を満たす質の高い提案であり,各グループの各構成員の持つ清掃工場及び水泳場の整備運営に関する高いノウハウを示すものでした。

本審査は各グループより提出された第二次提案書に記載された内容について,事業者選定基準に基づき,さらに優れる部分に対して加点的に評価を行ったものです。

項目 A	項目 B	講評
1 清掃工場の設計・建設	建設工事に関する事項	<p>安全の確保に関しては,各グループ共に,安全管理を目的とした専門委員会等の設置の提案が見られ高い評価を得た。</p> <p>環境保全,建設公害対策に関しては,建設リサイクルについて,種類,量等は各グループ間で異なるものの,効果的な提案が見られた。特に,提案受付番号7については,リサイクル品目及びその率において他を上回る提案であり評価できた。</p> <p>工程管理に関しては,提案受付番号5及び提案受付番号7において,工法による提案の他,独自の管理体制による効果的な提案があり評価できた。</p> <p>工法に対する提案に関しては,提案受付番号2と提案受付番号7において,本計画地の地質等を十分に考慮する等,具体的かつ効果的な提案があり評価できた。</p> <p>施工品質の確保の提案に関しては,提案受付番号2において,専門の協議会,監査体制及び市民に視点を置いた提案等,具体的かつ効果的であり評価できた。</p> <p>地場産材の利用に関しては,提案受付番号2の提案が,利用品目及び利用方法について,具体的かつ効果的であり高い評価を得た。</p>
	清掃工場の施設全体に関する事項	<p>提案受付番号2についてはキルン式ガス化溶融炉,提案受付番号5については流動床式ガス化溶融炉,提案受付番号7についてはストーカ式焼却炉+電気式灰溶融炉が提案された。</p> <p>処理システムに関しては,ごみ系統や燃焼空気系統等の基本システムの説明に対し,提案受付番号2と提案受付番号5が具体的であり評価できた。特に提案受付番号2については,地球環境対策,地域環境対策,資源化による埋立処分量の削減について優れた提案であり評価できた。</p> <p>配置及び動線計画に関しては,提案受付番号7の一般持込車の利便性等,そして,提案受付番号5の駐車場の利便性等に課題を残した。</p> <p>安全管理に関しては,各グループ共にガス漏れや爆発等の対策を含め,具体的かつ効果的な提案があった。その中であって提案受付番号5のダイオキシン類の管理,出滓への対応及び提案受付番号2と提案受付番号7の感電・漏電対策に対しての提案は,具体的かつ効果的であり評価できた。</p>

項目 A	項目 B	講評
	清掃工場の施設全体に関する事項（つづき）	<p>地震対策に関しては、提案受付番号 2 について転倒防止措置、フェールセーフ機構等具体的な提案が評価できた。提案受付番号 5 は、個々の機器について具体的かつ効果的であり評価できた。</p> <p>塩害対策に関しては、特筆する提案はなかったものの、各グループ共に効果的と判断でき、差は見られなかった。</p> <p>見学者対応諸室・説明用調度品に関しては、提案受付番号 2 については、環境団体の協力による「リユース工房」の設置が評価でき、提案受付番号 5 については、展示・啓発施設に対し、展示内容や備品に具体的かつ効果的な提案があり評価できた。</p> <p>災害対策に関しては、提案受付番号 2 において、施設の能力以外に、プール水のプラント用水利用や給油スタンドの設置など、具体的かつ効果的な対策が提案されており評価できた。加えて、災害により周辺インフラが絶たれた場合でも自立運転を可能とした提案も評価できた。</p>
	建築の機能及び性能等に関する事項	<p>室内環境対策に関しては、提案受付番号 2 及び提案受付番号 7 において、見学者説明室等の騒音対策、臭気対策及び防振対策、照明・換気等について、具体的な対策の提案が見られ、評価できた。</p> <p>構造、防水に関しては、各グループ共にプラットホーム等への臭気対策及びごみピットの防水等について有効な提案が見られ、評価できた。特に提案受付番号 5 については、西風に対する臭気対策等が具体的であり評価できた。</p> <p>外構に関しては、各グループ共に、環境施設計画や災害時対策等について、具体的かつ効果的な提案が見られ、高い評価となった。特に提案受付番号 2 においては、光触媒舗装による NOx の除去や、スラグを利用した舗装部の設置、地場産木材チップの散策道などが評価できた。</p> <p>環境への配慮の提案に関しては、アカウミガメの産卵への配慮について、各グループ共に有効性の高い具体的な提案がなされ、いずれも高い評価を得た。</p>
	プラントの機能及び性能等に関する事項	<p>機器の余裕に対しては、特に優れた提案は見られないものの、比較的、ボイラ給水系・蒸気・復水系や貯留設備系について、提案受付番号 5 が効果的であり評価できた。</p> <p>二次災害防止対策に関しては、停電、地震、火災、機器故障時の自動制御等の考え方について各グループ共に具体的かつ効果的な提案があり、評価できた。</p> <p>特に、提案受付番号 2 と提案受付番号 5 については、重要機器に対する制御に対し、効果的な提案が見られ高い評価となった。</p> <p>自動制御に関しては、中央制御室の操作、ACC（自動燃焼制御装置）に関する考え方、現場操作盤の各制御盤とオペータコンソールの連携等について、各グループ共に具体的かつ効果的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号 2 については、実績を踏まえた制御とその活用に対し、具体的な提案があり評価できた。</p>

項目 A	項目 B	講評
	プラントの機能及び性能等に関する事項（つづき）	スラグ等の生成物の資源化に関しては、スラグの製造に関する考え方や粒度調整等に対し、各グループ共全量再利用するなど具体的かつ効果的な提案があり、評価できた。余熱利用に関しては、水泳場への安定供給に対する提案について、各グループ共に、具体的かつ効果的な提案があり評価できた。特に、蓄熱システムやバックアップ機能、運用性を考慮した高・低温水での供給等、各グループ共に、効果的でありかつ特徴のある提案が見られた。
2 清掃工場の運営・維持管理計画	一般廃棄物等受入れ業務に関する事項	廃棄物の確認に関しては、各グループ共に、搬入者に対しての搬入廃棄物の内容確認方法等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号 2 及び提案受付番号 5 については、許可業者の搬入車両に制限されない廃棄物確認方法等の提案があり評価できた。処理不適物の取扱に関しては、各グループ共に、広報等による再発防止策等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号 2 については、講習会の開催などによる周知の方法や、具体的な処理方法及び処理後の対応策についての提案があり評価できた。
	運転管理業務に関する事項	運転計画に関しては、各グループ共に、水泳場運営への配慮等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号 2 及び提案受付番号 7 については、運転計画の立案における検討項目や運転計画の見直し・調整方法等について優れた提案があり評価できた。管理運営体制に関しては、各グループ共に、運転管理体制の維持・強化策について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号 2 については、安全管理体制の維持・強化策について、具体的な提案があり評価できた。備品・什器・物品・用役の管理に関しては、提案受付番号 2 及び提案受付番号 5 に、管理体制・方法等について、有効かつ具体的な提案があり評価できた。搬入廃棄物等の性状分析に関しては、各グループ共に、スラグの性状分析等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号 2 については、搬入廃棄物・搬出物共に分析の方法や頻度等について、要求水準以上の具体的な提案があり評価できた。緊急時の対応に関しては、各グループ共に、緊急時の対応体制等について、非常に有効かつ具体的な提案があり、評価できた。
	保守管理業務に関する事項	プラント設備の保守管理に関しては、各グループ共に、検査頻度等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。提案受付番号 2 については、数多くの法定検査を上回る自主検査の実施、第三者による客観的評価の実施等、要求水準以上の具体的な提案が多くあり評価できた。建築設備の保守管理に関しては、各グループ共に、検査頻度等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号 2 及び提案受付番号 5 については、法定検査を上回る自主検査の実施について、有効かつ具体的であり評価できた。

項目 A	項目 B	講評
	情報管理業務に関する事項	<p>情報管理に関しては、各グループ共に、情報の保管・管理方法等について非常に有効かつ具体的な提案があり、評価できた。</p> <p>報告方法に関しては、各グループ共に、開示方法等についてはホームページによる公表等、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、受付提案番号 2 については、在庫管理情報に関する本市に対しての効果的な報告の提案があり評価できた。</p>
	環境管理業務に関する事項	<p>公害防止基準の遵守方策に関しては、各グループ共に、大気汚染物質のモニタリング方法等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。</p> <p>測定・試験頻度に関しては、各グループ共に、測定箇所・頻度等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。</p> <p>ただし、全般的に特に秀でた提案は見られなかった。</p>
	修繕更新業務に関する事項	<p>プラント設備の修繕更新に関しては、各グループ共に、計画作成のポイント・見直し方法等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号 2 については、長期修繕計画や修繕更新の評価に対し、具体的な提案があり、評価できた。</p> <p>建築設備の修繕更新に関しては、提案受付番号 2 及び提案受付番号 7 については、定期的な建物診断結果に基づく計画の見直し方法等について有効かつ具体的な提案があり、評価できた。</p>
	余熱利用業務に関する事項	<p>施設内への供給に関しては、各グループ共に、清掃工場運転計画への配慮等について有効かつ具体的な提案があり、評価できた。</p> <p>施設外への供給に関しては、各グループ共に、日売電量への配慮等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号 5 については、処理対象廃棄物の発熱量に配慮した売電量増加の提案があり、評価できた。</p> <p>熱利用効率に関しては、各グループ共に、エネルギー節減・管理方法等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号 7 については、エネルギー利用のモニタリング方法、節減促進方法に優れた提案があり、評価できた。</p> <p>ただし、全般的に特に秀でた提案は見られなかった。</p>
	スラグ等の有効利用業務に関する事項	<p>生成物の資源化ルートに関しては、各グループ共に、有効利用用途・利用先について、非常に有効かつ具体的な提案があり、評価できた。</p> <p>引取量・価格に関しては、各グループ共に、引取量・価格・増量時の対応等について、非常に有効かつ具体的な提案があり、評価できた。</p> <p>成分分析に関しては、提案受付番号 2 及び提案受付番号 5 に、項目・頻度等について有効かつ具体的な提案があり、評価できた。</p> <p>スラグ化率に関しては、各グループ共に、最適運転等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。</p> <p>有効利用の報告に関しては、提案受付番号 2 及び提案受付番号 7 に、本市への報告・内容等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。</p>

項目 A	項目 B	講評
	その他関連業務に関する事項	<p>見学者対応に関しては、各グループ共に、見学者への説明方法等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号5については、見学者への啓発方法等に対し、効果的な提案があり、評価できた。</p> <p>警備に関しては、各グループ共に、異常時・イベント開催時等の対応方法等について、有効かつ具体的な提案があり、評価できた。特に、提案受付番号2及び提案受付番号5については、具体的な異常時の対応方法等について提案があり、評価できた。</p> <p>場内清掃に関しては、各グループ共に、清掃計画内容等について、非常に有効かつ具体的な提案があり、評価できた。</p>
3 水泳場の設計・建設	建設工事に関する事項	<p>安全の確保に関しては、各グループ共に具体的な安全衛生管理体制の提案及び各種の具体的な安全対策の提案が見られいずれも高い評価を得た。</p> <p>環境保全、建設公害対策に関しては、各グループ共にISO14001(環境マネジメントシステム)、環境配慮型・低公害型の工事機器の採用、建設廃棄物のリサイクル等の提案がなされ高い評価を得た。</p> <p>工程管理に関しては、提案受付番号5及び提案受付番号7において、工法による提案の他、管理体制について、具体的かつ効果的な提案があり評価できた。</p> <p>工法に対する提案に関しては、提案受付番号5と提案受付番号7において、屋根架構の工法について有効性の高い提案があり評価できた。</p> <p>施工品質の確保の提案に関しては、提案受付番号2において、専門の協議会、監査体制及び市民に視点を置いた提案等、具体的かつ効果的であり評価できた。</p> <p>地場産材の利用に関しては、提案受付番号2の提案が具体的かつ効果的であり高い評価を得た。</p>
	水泳場の施設全体に関する事項	<p>バリアフリー及びユニバーサルデザインへの対応の提案に関しては、提案受付番号2と提案受付番号7については具体的な提案が幅広くなされている点が評価できた。提案受付番号5については、計画段階からの関係者の参加の提案が評価できた。</p> <p>水泳場における環境への配慮の提案に関しては、各グループ共に環境負荷の低減に関する具体的な提案がなされ、アカウミガメの産卵への配慮についても各グループ共に有効性の高い具体的な提案がなされ、いずれも高い評価を得た。</p>
	建築の機能及び性能等に関する事項	<p>水泳場の配置計画に関しては、提案受付番号5と提案受付番号7が全プール南側配置、提案受付番号2のみがメインプールゾーンが北側配置となっているが、これについては中立の評価とした。提案受付番号5と提案受付番号7については、アクセス道路からの認知度の高さが高く評価できた。</p> <p>敷地レベルの動線計画に関しては、各グループ共に来場者車両、場内歩行者、臨時駐車場・清掃工場からの動線、身障者・緊急車両・管理等の各動線とも十分な検討がなされ評価できた。提案受付番号2については、駐車場からの動線が総じて短い点が高く評価できた。</p>

項目 A	項目 B	講評
	<p>建築の機能及び性能等に関する事項（つづき）</p>	<p>外観デザイン，景観への配慮については，各グループ共に浜松らしさ及び景観への配慮の考え方が示され，それが意匠に明快に反映されており評価できた。</p> <p>緑化の推進に関する提案については，提案受付番号 2 と提案受付番号 7 について，地域性を考慮した樹種選定の検討が詳細になされ評価できた。</p> <p>構造計画については，各グループ共にプール槽の浮力対策等有効な提案がなされていたが，提案受付番号 7 についての杭基礎の提案は特に高く評価できた。</p> <p>建築本体の提案に関しては，各グループ共に臨海部の立地を考慮した耐久性向上の提案が具体的になされており評価できた。</p> <p>ゾーニング計画及び平面計画に関しては，各グループ共に各ゾーンの関係及び各種動線はいずれも良好なものとなっており評価できた。大会時のレジャープールの利用については，提案受付番号 2 と提案受付番号 5 の対応性の高さが評価できた。</p> <p>メインプールゾーン及びサブプールゾーンの提案に関しては，提案受付番号 5 と提案受付番号 7 についてメイン，サブ，飛込みの全てのプールに可動床が採用され，バリアフリーにも対応し特に高く評価できた。</p> <p>レジャープールゾーンの提案については，レジャープールについては提案受付番号 5 及び提案受付番号 7 の施設の充実度が高く評価できたが，提案受付番号 2 は健康増進機能に偏重しレジャー的要素に検討の余地を残した。また，各グループ共に利用者の健康管理に関する提案がなされた点は評価できた。</p> <p>プール共通ゾーン，大会運営ゾーン，管理ゾーン，共用ゾーン，外部施設の計画の提案に関しては，大会運営ゾーンについて提案受付番号 7 の大会関係諸室の配置が優れており高く評価できた。提案受付番号 2 は，大会諸室の配置について検討の余地を残した。外部空間については，各グループ共に各々内容は異なるものの多様な提案がなされ評価できた。</p> <p>建築機械設備，建築電気設備の提案に関しては，各グループ共に省エネルギーや環境負荷の低減に関する提案がなされいずれも高く評価できた。提案受付番号 2 の非接触式 IC チップを利用したシステムの入退場管理設備は高く評価できた。</p> <p>備品等の計画については，各グループで若干の差があるもののほぼ適切な提案内容となっているものと評価できた。</p>

項目 A	項目 B	講評
4 水泳場の運営・維持管理計画	運営に関する事項	<p>利用者の受付業務に関しては、各グループ共に、独自のノウハウを発揮した有効な提案がなされ、評価できた。</p> <p>水泳場の安全監視業務に関しては、各グループ共に有効な提案が見られたが、特に、提案受付番号 2 については、各種利用形態別に具体的な対応策が示されており、高く評価できた。</p> <p>水泳場の環境管理業務に関しては、各グループ共に、独自のノウハウを発揮した有効な提案がなされたが、特に提案受付番号 7 は、設定された有効な目標値に対する行動計画が具体的に示されており、高く評価できた。</p> <p>大会の開催支援業務については、各グループ共に、独自のノウハウ、ネットワークを活かした開催支援に関する具体的かつ有効な提案がなされており、高く評価できた。</p> <p>提案プログラム提供業務に関しては、提案受付番号 5 及び提案受付番号 7 で適切なコンセプトが示され、さらに提案受付番号 5 は本市ならではのシンクロ教室、飛込み教室等の提案がなされており、高く評価できた。</p> <p>飲食、物販店舗の運営業務に関しては、各グループ共に、独自のノウハウを発揮した魅力的なメニューが提案されており、高く評価できた。</p> <p>駐車場運営業務、その他運営業務に関しては、各グループ共に、駐車場における利便性確保、事故防止等に関する提案、及び本施設の魅力を高めるための提案において具体的かつ有効な提案がなされており、高く評価できた。</p>
	維持管理に関する事項	<p>建築物保守管理業務、建築設備保守管理業務及び備品等保守管理業務の提案に関しては、各グループ共に、独自のノウハウを発揮した有効な提案がなされたが、特に提案受付番号 7 は、設定された有効な目標値に対する行動計画が具体的に示されており、高く評価できた。</p> <p>清掃業務、植栽維持管理、警備業務の提案に関しては、各グループ共に、独自のノウハウを発揮した有効な提案がなされたが、特に提案受付番号 2 及び提案受付番号 5 は、明確な実施体制、責任体制が示されるとともに、業務内容等が具体的に示されており、高く評価できた。</p> <p>修繕更新業務の提案に関しては、各グループ共に LCC（ライフサイクルコスト）の削減に関する具体的な提案と具体的な長期修繕計画の提案が示され高く評価できた。</p>
5 事業計画	応募者の構成と役割分担に関する提案内容	<p>応募者の構成員数が各グループでかなりの差があったが、応募者のグループ構成の特徴と課題、課題への対応の提案において、各グループ共構成員数の多少による特長と課題への対応について適切な提案がなされており評価できた。</p> <p>特に提案受付番号 5 のグループ構成のバランスが良いと評価された。</p> <p>グループの統治の提案に関しては、各グループ共設計・建設段階及び運営・維持管理段階毎に事業のマネジメントに関する明確な責任体制が示されると共に、相互の監視体制等が示されており、高く評価できるが、特に提案受付番号 5 は、設計建設段階、運営維持管理段階における意思決定体制、マネジメント企業による相互監視体制、グループ内危機管理対応等の提案が具体的かつ有効であり高く評価できた。</p>

項目 A	項目 B	講評
	事業実施の確実性の確保に関する提案内容	<p>設計・施工段階のスケジュール遅延リスクへの対応の提案に関しては、各グループ共に有効な工程計画・工程管理の提案がなされ評価できたが、特に提案受付番号 2 の提案は、業務実施体制、マネジメント、工程計画、設計・施工技術の側面での各業務段階毎の提案が具体的に示されており、高く評価できた。</p> <p>災害・事故の発生への対応として予め準備する対策の提案に関しては、各グループ共に緊急連絡体制、マニュアルの整備、訓練の実施等の提案が具体的に示され評価できたが、特に提案受付番号 2 の提案は、想定される災害毎の対策が具体的に示されるなど詳細な提案となっており高く評価できた。</p> <p>セルフモニタリングの提案については、各グループ共に構成企業等によるセルフモニタリングについて具体的な提案があり評価できたが、特に提案受付番号 2 については、第三者機関、金融機関、市民によるモニタリングの実施の提案が示され、高く評価できた。</p>
	S P C の経営方針、経営内容に関する提案内容	<p>経営方針、資本金、資金調達の提案に関しては、各グループ共に適切な提案であると認められ評価できた。</p> <p>S P C の社内組織体制の提案に関しては、提案受付番号 2 については支配人、副総支配人等の提案が極めて具体的である点が評価できた。提案受付番号 5 については、S P C 役員の体制の具体性と監査役会の提案が優れている点が評価できた。提案受付番号 7 については、S P C 役員の体制が具体的に示され評価できた。</p> <p>教育施策の提案に関しては、提案受付番号 2 と提案受付番号 7 について供用開始前と供用開始後の各段階で具体的かつ有効な提案があり評価できた。</p>
	事業継続の危機管理に関する提案内容	<p>資金不足時の対応策の提案に関しては、各グループ共に資金不足の予防策及び対応策が具体的に示され高く評価できた。</p> <p>保険の加入の提案に関しては、各グループ共に保険会社等との協議等を踏まえて、要求水準以上の提案が具体的に示され評価できた。</p> <p>構成員の破綻時の対応については、各グループ共に整備期間と運営期間のそれぞれについて、構成員間でのバックアップ及びバックアップサービスの提案が具体的に示され評価できた。</p> <p>その他にも各グループ共に S P C のリスクの最小化についての提案が幅広く提案されている点は高く評価できた。</p>
	本市との協調、連携に関する提案内容	<p>本市との連絡・協議体制の提案に関しては、提案受付番号 2 及び提案受付番号 5 においては協議会の設置の提案が、提案受付番号 7 においては一元化管理の提案が、それぞれ具体的かつ有効な提案であると評価できた。</p> <p>市民との関わり、地域経済との関わりの提案については、各グループ共に独自の有効な提案がなされ、高く評価できた。</p>

第4 . 第二次審査（総合審査）総括

清掃工場とその余熱利用施設である水泳場を一括して整備・運営するという点が大きな特色である本事業において、審査方式は民間事業者の応募に係る負担の軽減を図る趣旨から、第一次審査と第二次審査を行う二段階審査としました。

第一次審査においては7グループからの応募を受け、資格審査と第一次提案審査を行った結果、第一次審査通過者として3グループを選定しました。

第二次審査においては第一次審査を通過した3グループから第二次提案が提出されましたが、清掃工場については処理方式が3グループとも異なり、また水泳場においても3グループともに独自性の高い提案がなされ、各グループの保有するノウハウが存分に発揮された非常に内容の濃いレベルの高い提案でありました。いずれの提案も本事業の詳細かつ高水準の要求水準を満たす、質の高い提案であり、審査は非常に高いレベルで各提案の優れた点について評価を与えていくものとなりました。

提案受付番号2の提案は、清掃工場については処理方式にキルン式ガス化溶融炉を採用し、水泳場については波をイメージしたアーチ屋根の外観とメインプールゾーンを北側へ配置していることが特徴として挙げられます。提案受付番号5の提案は、清掃工場については処理方式に流動床式ガス化溶融炉を採用し、水泳場については立方体の集合をイメージした外観と全てのプールを南側へ配置していることが特徴として挙げられます。また、提案受付番号7の提案は、清掃工場については処理方式にストーカ式焼却炉+電気式灰溶融炉を採用し、水泳場については水泳場の躍動感をイメージした波型のスカイラインを持つ外観と全てのプールを南側へ配置していることが特徴として挙げられます。

以上の3グループの提案について、PFI専門委員会による厳正かつ公正な審査の結果、最終的に提案受付番号2の提案が最も高い評価を得て、優秀提案として選定されました。また、次点の提案には、総合評価得点において第2位である提案受付番号5が選定されました。

優秀提案として選定された提案受付番号2の清掃工場に関する提案については、設計・建設業務の提案において、地球環境への配慮、地域環境への配慮、資源化の対策、災害廃棄物対策等について優れており高い評価を得ました。また、清掃工場の運営・維持管理業務の評価についても、保守管理業務の提案等について優れた内容が認められ高い評価を獲得しました。

提案受付番号2の水泳場に関する提案については、設計・建設業務に関して全体ゾーニング計画、各種動線計画等を含めて施設全体の計画については、検討熟度の高い提案と評価されましたが、大会運営諸室の配置等、大会の運営に関わる配置計画に部分的に難点も指摘されました。運営・維持管理業務については、運営会社のノウハウに基づく幅広い提案がされていましたが、浜松らしさを活かした運営をさらに検討する必要があるとの評価がなされました。

事業計画については、事業の安定的な実施等について適切な内容の提案が幅広く詳細に説明されており、高い評価となりました。

以上の審査の結果、提案受付番号2の提案が、価格以外の提案審査項目の合計において3グループの中で最も高い評価点を得ました。

また、提案受付番号2は提案価格において最も低い金額となっており、価格の評価においても最も高い評価点を得ました。よって提案受付番号2が、価格以外の評価点と価格の評価点の合計である総合評価得点において3グループの中で最も高い評価となりました。

第 5 . 優秀提案の概要

1 . 清掃工場

敷地面積	69,262.60 m ² 将来施設用地，道路整備部分を含む
建築面積	8,458.30 m ²
延床面積	16,280.93 m ²
階数	工場棟 5 階，管理棟 3 階，その他棟 1 階
処理方式	キルン式ガス化溶融炉
処理能力	450t/日 (150t/日 × 3 炉)

2 . 水泳場

敷地面積	37,842.68 m ² アクセス道路拡幅部分を含む
建築面積	12,205.32 m ²
延床面積	16,649.27 m ²
階数	地下 1 階 地上 2 階